

令和2年第4回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和2年11月26日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、市民の皆様のご活躍につきまして、報告させていただきます。

【健康づくりの分野における活躍について】

10月8日、「令和2年度牛乳・乳製品利用料理コンクール」が開催され、雲仙市食生活改善推進員連絡協議会の濱本麻岐様が、最優秀賞及び長崎県知事賞を受賞されました。

今回の受賞は、濱本様が雲仙市食生活改善推進員として学んだ知識を活かして、牛乳豆腐を用いた「栄養たっぷりミルク春巻き」のレシピを考案されたものであり、独創的な発想力とカルシウム摂取不足を補うアイデアなどが、高く評価されたものであります。

市といたしましても、健康増進計画「健康うんぜん21」の推進及び健康寿命の延伸に、今後も取り組んでまいります。

【産業の分野における活躍について】

11月14日、「令和2年度ながさき農林業大賞」表彰式が開催され、産地集団部門におきまして、島原雲仙農業協同組合なんこういちご部会様が「長崎県知事賞」を、露地野菜

部門におきまして、栗原光博様・千恵様が「運営委員会長賞」を受賞されました。

今回の受賞は、地域の特性を活かした先進的な農林業を展開され、成果を上げられていることに対して高い評価を受けたものです。

また、同じく11月14日、「ながさき水産業大賞」表彰式が開催され、長年、幅広い情報発信や経営の多角化、水産加工商品の開発や外国人技能実習生の育成等を展開されてこられたご功績により、株式会社天洋丸様が「長崎県知事賞」を受賞されました。

各受賞が、今後も本市の農林水産業の振興に繋がるものと期待しております。

【生活衛生の分野における活躍について】

10月23日、長崎県料飲業生活衛生同業組合理事長の藤本淳次郎様が、長崎県料飲業界の発展に寄与する組織活動の推進や衛生措置の改善向上等、顕著なご功績により、令和2年度生活衛生功労者といたしまして、厚生労働大臣表彰を受賞されました。

【地方教育行政の分野における活躍について】

10月23日、「令和2年度地方教育行政功労者表彰」におきまして、今年2月末をもって雲仙市教育長を退任された山野義一様が、教育振興にかかるご功績により、文部科学大臣表彰を受賞されました。

【芸術文化の分野における活躍について】

11月3日、図書ボランティアグループ「おはなしの会くれよん」の皆様が、長年の活動を評価され、公益社団法人読書推進運動協議会から「第53回全国優良読書グループ表彰」を受賞されました。

11月7日、「第48回マーチングバンド全国大会九州予選ビデオ審査会中学生の部」におきまして、小浜中学校吹奏楽部が金賞を受賞され、来年1月23日にオンラインで開催される「第48回マーチングバンド全国大会中学生の部」に出場されることが決定いたしました。

【スポーツの分野における活躍について】

「第71回長崎県民体育大会」が、11月14日、15日を中心に、長崎地区を主会場として開催されました。

今回の県民体育大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施されない競技がありましたが、雲仙市体育協会からは、8競技に総勢227名の選手が出場されました。

団体競技におきましては、ソフトボール競技の「成年女子一般の部」と「成年男子壮年の部」で3位、サッカー競技の「一般男子の部」と「30歳以上の部」で3位の成績を収められました。

また、個人競技におきましては、陸上競技「男子40歳から44歳やり投げ」で高原務様が2位、「男子30歳未満100m走」で小川佳祐様、「男子30歳から39歳走り幅跳び」で吉田翼様、「男子40歳から44歳砲丸投げ」で増田龍二様、「女子40歳から49歳砲丸投げ」で林田美香様が3位の成績を収められました。

【人権啓発・擁護の分野における活躍について】

10月26日、長年にわたり、熱意をもって、人権啓発、相談及び救済活動等の人権擁護委員活動にご尽力され、社会

福祉の増進に貢献されたご功績により、山口政彦様が法務大臣表彰を受賞されました。

【選挙啓発の分野における市民の活躍について】

令和2年度明るい選挙啓発ポスターコンクールにおきまして、愛野中学校2年の林田滯音さんが「公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞」を、国見中学校2年の村木くららさんが「長崎県選挙管理委員会委員長賞」を受賞されました。

栄誉ある各賞を受賞された皆様に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

地域福祉の取り組みにつきましては、11月14日、「令和2年度雲仙市金婚祝賀式」を開催いたしました。

市議会議員の皆様にもご臨席賜りまして、ご出席された21組のご夫婦へ祝賀状と記念品をお贈りし、祝福させていただきました。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

生産基盤の整備につきましては、11月4日、農地基盤整備事業のPR活動といたしまして、「おおつかっ子探検隊」が開催され、大塚小学校3年生の皆さんが、「山田原第2地区基盤整備事業」工事完成後のほ場や総合集荷場の見学、ブロッコリー収穫体験などを行いました。

本市の基幹産業である農業の現状を学ぶことで、郷土への誇りと更なる愛着心を育てる学習の機会となったとのことであり、主催された島原半島土地改良協会、山田原第2土地改良区及び山田原第2農地保全会の皆様のご尽力に対し、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

物産振興の取り組みにつきましては、雲仙市と物産の振興

に関する協定を締結しております株式会社アンドローカルズ様及び株式会社博多大丸様との連携により、橘湾東部漁業協同組合様の協力を得て、9月30日に博多大丸天神店の生鮮売場内に、「いりこ」を中心とした特産品を販売する店舗といたしまして、「アンドローカルズ・雲仙漁師町の台所」をオープンしていただきました。

海産物を中心とした雲仙市の特産品を都市部の消費者の方に直接PRする絶好の機会であり、この取り組み結果を今後の雲仙市の物産振興に繋げてまいります。

観光資源の取り組みにつきましては、10月28日、国内各地で歴史的建造物等を活用した地域活性化の実績がある株式会社NOTE^{のーと}様と、国見町神代地区における歴史的資源等を活用した地域活性化を目的に、連携協定を締結いたしました。

今後は、神代小路地区を中心とした歴史的資源等を活用したまちづくりを通じて、交流人口の増加や移住定住を図り、ひいては雲仙市の発展に寄与するよう、取り組んでまいります。

本市のイメージ高揚及び観光振興を図る取り組みといた

しましては、11月11日、フィジカルコメディアンのカッチ様を雲仙ふるさと大使に委嘱いたしました。

カッチ様は、「が〜まるちよば」として20年間、パントマイムをベースとしたコメディパーフォーマンスにより、国内外の催し物や舞台、テレビなどで活動してこられました。

海外でも名誉ある賞を数多く受賞され、令和元年からはソロ活動に転向されております。

これまでの様々な経験と豊かなアイデアをもとに、本市の魅力を広くPRいただけるものと期待しております。

【基本方針3「社会基盤と環境」の分野について】

主要道路の整備につきましては、島原半島3市で構成する愛野・小浜バイパス建設促進期成会におきまして、各市の市長並びに議長の皆様とともに、11月4日に長崎県、長崎県議会、自由民主党長崎県支部連合会及び国土交通省長崎河川国道事務所、11月9日には国土交通省九州地方整備局、また11月13日には国土交通省、財務省及び長崎県選出の国会議員に対する要望活動を実施いたしました。

加えて、11月24日には、市議会副議長様とともに、国

土交通省九州地方整備局へ市単独要望を行ってまいりました。

今後も関係機関との連携を図りながら、国へ強く働きかけることはもとより、市といたしまして、でき得る限りの取り組みを進めてまいります。

市政15周年を迎えた10月11日、雲仙市新地域交通実証実験運営協議会の主催により、乗り合い送迎サービス「チョイソコうんぜん」のお披露目式が執り行われ、19日に運行が開始されました。

11月24日現在、541名の会員登録、延べ388回のご利用がなされており、本市の持続可能な地域交通の確立に向け、協議会の活発な事業推進を期待しております。

11月2日、一般社団法人長崎県産業資源循環協会様と「災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」を締結いたしました。

市といたしましては、被災した際の早期復旧・復興のためには、災害廃棄物の処理が重要であると認識しており、本協定の締結により、廃棄物の処分に関する豊富な経験と知見を有する同協会との迅速な連携・協力ができるものと期待して

おります。

今後とも災害時の早期復旧・復興のため、より一層の災害廃棄物処理体制の強化・充実に努めてまいります。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

10月1日、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様と「地方創生に関する包括連携協定」を締結いたしました。

今回の協定締結により、地域課題の解決と地域活性化、更には市民サービスの向上を加速させ、本市における地方創生の実現に寄与するものと期待しております。